

ポンピドゥー・ センター・コレクション フルーツ・オブ・パッション



パリからとどいた最新アート・コレクション

Fruits de la Passion
La Collection du Centre Pompidou

2014年1月18日土 — 3月23日日

展覧会概要

フランス、パリのポンピドゥー・センターにあるパリ国立近代美術館は、1977年の開館以来、ニューヨーク近代美術館と並んで近・現代美術に関する世界で最も重要な拠点として知られています。特に現代美術の収集は活発に行われ、巨匠から現在活躍中の美術家の作品にいたるまで、幅広く刺激的な内容を持つコレクションは常に増加を続けています。

展覧会では、この美術館の支援団体「国立近代美術館友の会 (la Société des amis du Musée national d' art moderne)」が2002年に立ち上げた「現代美術プロジェクト (le Projet pour l' art contemporain)」によって、ここ10年間に収集された現代美術のコレクションを中心に、現代の最前線の美術の様相を示す優れた作品群を大規模に展示します。この美術館の先進的かつ精力的な作品収集活動を紹介し、世界の現代アーティストの活力あふれる多様な美術表現を楽しんでいただきます。

会期等

2014年1月18日(土)～3月23日(日)

休館日：月曜日

開館時間：10:00～18:00

※金・土曜日は夜間開館(20:00まで)

※入場は閉館の30分前まで

会場：兵庫県立美術館 企画展示室

主催：兵庫県立美術館、ポンピドゥー・センター、読売新聞社、美術館連絡協議会

後援：在日フランス大使館/アンスティチュ・フランセ日本、兵庫県、兵庫県教育委員会、神戸市、神戸市教育委員会、Kiss FM KOBE

協賛：ライオン、清水建設、大日本印刷、損保ジャパン、パリ・ポンピドゥー・センター日本友の会

協力：エールフランス航空、NECディスプレイソリューションズ株式会社、ホテルオークラ神戸



1. ポンピドゥー・センター外観 © Centre Pompidou / Georges Meguerditchian

観覧料

一般1,300(1,100)円、大学生900(700)円、

高校生・65歳以上650(550)円、中学生以下無料

※()内は、前売および20名以上の団体割引料金

(高校生・65歳以上は前売なし)

※障がいのある方とその介護の方1名は各当日料金の半額

(65歳以上除く)

※割引を受けられる方は、証明できるものを持参のうえ、会期中美術館窓口で入場券をお買い求めください。

※コレクション展の観覧には別途観覧料金が必要です(本展とあわせて観覧される場合は割引あり)

※前売券は11月15日(金)から1月17日(金)まで販売します。会期中は販売しません。

※前売券販売場所：JTB各支店・総合提携店、

ローソン、ファミリーマート、セブンイレブン、サンクス、

ほか京阪神のプレイガイド

※コンビニ商品番号 前売券：0235536 当日券：0235537



90^e ANNIVERSAIRE
DU PARTENARIAT CULTUREL
FRANCO-JAPONAIS



1924・2014



平成25年度 文化庁

地域発・文化芸術創造発信イニシアチブ

Exposition organisée par le Hyogo Prefectural Museum of Art, Kobe, et le Centre Pompidou, Paris

展覧会内容

ポンピドゥー・センターのパリ国立近代美術館が友の会からの寄贈により取得した19作家25点とともに、現代美術の巨匠の作品6点を加えた25作家31点を紹介します。

友の会からの寄贈 19作家^{*1}

Adam Adach	アダム・アダク	1962 -
Farah Atassi	ファラー・アタッシ	1981 -
Angela Bulloch	アンジェラ・ブロック	1966 -
Leandro Erlich	レアンドロ・エルリッヒ	1973 -
Hans-Peter Feldmann	ハンス＝ペーター・フェルドマン	1941 -
Isa Genzken	イザ・ゲンツケン	1948 -
Andreas Hofer	アンドレアス・ホーファー	1963 -
Curtis Mann	カーティス・マン	1979 -
Ernesto Neto	エルネスト・ネト	1964 -
Magnus von Plessen	マグナス・フォン・プレッセン	1967 -
Jason Rhoades	ジェイソン・ローズ	1965 - 2006
Anri Sala	アンリ・サラ	1974 -
Wilhelm Sasnal	ヴィルヘルム・サスナル	1972 -
Thomas Scheibitz	トーマス・シャイビッツ	1968 -
Tatiana Trouvé	タチアナ・トゥルーヴェ	1968 -
Janaina Tschäpe	ジャンナйна・チェッペ	1973 -
Tse Su-Mei	ツェ・スーメイ	1973 -
Oscar Tuazon	オスカー・トゥアゾン	1975 -
Jean-Luc Verna	ジャン＝リュック・ヴェルナ	1966 -

現代美術の巨匠 6作家^{*3}

Daniel Buren	ダニエル・ビュレン	1938 -
Agnes Martin	アグネス・マーチン	1912 - 2004
Gerhard Richter	ゲルハルト・リヒター	1932 -
Robert Ryman	ロバート・ライマン	1930 -
Pierre Soulages	ピエール・スーラージュ	1919 -
Cy Twombly	サイ・トゥオンブリー	1928 - 2011

本展のみどころ

① 神戸だけで見ることができる特別な展覧会

この展覧会はポンピドゥー・センターと兵庫県立美術館の共同企画で、他館への巡回はありません。お見逃しなく!

② ポンピドゥー・センターと友の会による「情熱の果実」

展覧会の中核をなすのは、この10年間にポンピドゥー・センターのコレクションとなった19人の作家^{*1}による25点の作品です。これらの作品は、2002年から始まった国立近代美術館友の会の「現代美術プロジェクト」によって収集された作品から選ばれたものです。つまりこの展覧会は、友の会のメンバーとポンピドゥー・センターの「情熱の果実」と呼ぶべきものなのです。

③ 最先端の作家たちによる作品がずらり

19人の作家はいずれも、ヴェネツィア・ビエンナーレなどの国際展を舞台に活躍する、今まさに脚光を浴びている存在です。最先端の作家たちによる絵画、立体、映像、インスタレーション^{*2}など多様なジャンルの作品をお楽しみください。

^{*2}: ある場所にもや映像、音などを配置して、その場所全体を作品として体験させる芸術のジャンルのひとつ。

④ ビュレン、リヒター、トゥオンブリー…現代美術の巨匠の作品も

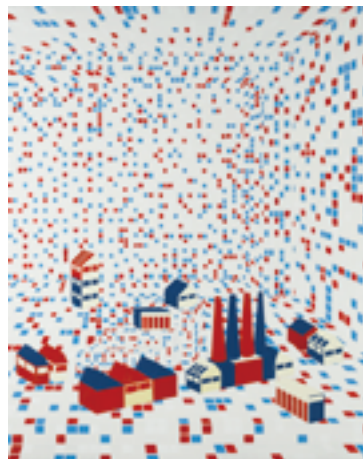
最先端の作家たちの作品とともに、現代美術の巨匠とよぶべき6人の作家^{*3}の作品もイントロダクションとしてご紹介します。展覧会の全体を通じて、ポンピドゥー・センターの現代美術コレクションのハイライトをご覧いただけます。

主な出品作家

ファラー・アタッシ

Farah Atassi 1981-

ベルギーのブリュッセルに生まれ、現在はパリを拠点に活躍する注目の若手画家。彼女の作品の主なモチーフは室内空間で、直線と単純な格子構造の組み合わせと装飾的とも言える明晰な色彩が特徴。遠近法が生み出す空間のイリュージョンと、平面性を強調するようにモザイク状に配された鮮やかな色彩とのせめぎあいがある。2013年マルセル・デュシャン賞の候補としてノミネートされた。



2. ファラー・アタッシ 《作業場》 2011 © Farah Atassi
Photo © Centre Pompidou, MNAM-CCI / Georges Meguerditchian / Dist.RMN-GP

ハンス＝ペーター・フェルドマン

Hans-Peter Feldmann 1941-

ドイツのデュッセルドルフに生まれ、現在も同地を拠点に活躍する。雑誌や絵葉書、ポスターといった既存の写真を集めて編集した本を作品とするなど、コンセプチャルな作風で知られる。作品の形態は彫刻、インスタレーション、写真、本など多岐に渡る。カッセルのドクメンタ（1972年と1977年）やヴェネツィア・ビエンナーレ（2003年と2009年）といった国際展への参加も多く、2010年にはヒューゴ・ボス賞を受賞している。

ハンス＝ペーター・フェルドマン

《影絵芝居(パリ)》 2011

の画像を提供できます。

ご希望の方は、お問い合わせください。

画像使用につきましては、別途、著作権使用承諾の申請・著作権使用料が必要となります。(p.8ご参照ください)

3. ハンス＝ペーター・フェルドマン 《影絵芝居(パリ)》 2011
© VG BILD-KUNST, Bonn & JASPAR, Tokyo, 2013 E0747
Photo © Centre Pompidou, MNAM-CCI / Georges Meguerditchian / Dist.RMN-GP

イザ・ゲンツケン

Iza Genzken 1948-

ドイツのバード・オルデスローエに生まれ、現在はベルリンを拠点に活躍する。彼女が手がけるのは主に彫刻作品だが、写真や映像、平面作品や本など、様々な素材や媒体における作品も手がける。彫刻作品であってもガラスやコンクリートといった建築の素材が積極的に取り入れられ、そこに写真など視覚的な要素を持つ素材が組み合わせられることでジャンルの境界は曖昧なものとなる。カッセルのドクメンタ（2002年）やヴェネツィア・ビエンナーレ（2003年と2007年、2007年はドイツ代表）など国際展への参加も多い。



4. イザ・ゲンツケン 《無題》 2006
© Isa Genzken/Courtesy Galerie Daniel Buchholz, Cologne/Berlin
Photo © Centre Pompidou, MNAM-CCI / Georges Meguerditchian / Dist.RMN-GP

アグネス・マーチン

Agnes Martin 1912-2004

カナダ出身の20世紀のアメリカを代表する画家の一人。1960年代初めの、手描きの細く美しい線や格子によって構成される抽象絵画によって注目を集めるようになる。彼女の作品はミニマル・アートと形容されることもあるが、作家自身はマーク・ロスコなど抽象表現主義の系譜に位置付けられることを好んだ。

アグネス・マーチン

《無題》 2002

の画像を提供できます。

ご希望の方は、お問い合わせください。

画像使用につきましては、別途、著作権使用承諾の申請・著作権使用料が必要となります。(p.8参照)

5.アグネス・マーチン 《無題》 2002

© Estate of Agnes Martin / ARS, N.Y. / JASPAR, Tokyo, 2013 E0747

Photo © Centre Pompidou, MNAM-CCI / Philippe Migeat / Dist.RMN-GP

エルネスト・ネト

Ernesto Neto 1964-

ブラジルのリオ・デ・ジャネイロ出身の同国を代表する美術作家。伸縮性のある薄い布地や香辛料など、自然の素材を用いた有機的なかたちのオブジェとそのインスタレーションによって知られる。2001年のヴェネツィア・ビエンナーレにブラジル代表として参加。2007年に丸亀市猪熊弦一郎美術館で個展開催。



6.エルネスト・ネト 《私たちはあの時ちょうどここで立ち止まった》 2002

© Ernesto Neto

Photo © Centre Pompidou, MNAM-CCI / Georges Meguerditchian - / Dist. RMN-GP

※表紙と同画像

ジェイソン・ローズ

Jason Rhoades 1965-2006

アメリカ出身の1990年代を代表するインスタレーション作家。UCLA在学中から個展を開催し注目を集め、ホイットニー・ビエンナーレに複数回参加。1997年、1999年のヴェネツィア・ビエンナーレにも参加。「彫刻」の概念を解体し、それを再構築するような作品によって知られ、さらなる活躍が期待されたが早逝した。



7.ジェイソン・ローズ 《ポープールの雌猫》 2004

© The Estate of Jason Rhoades

Photo © Centre Pompidou, MNAM-CCI / Georges Meguerditchian / Dist.RMN-GP

ツェ・スーメイ

Tse Su-Mei 1973-

ルクセンブルグに生まれ、同地とベルリンを拠点に活躍する。イギリス人ピアニストの母と中国人バイオリニストの父との間に生まれ、自身はチェロ奏者としても活躍する。彼女の作品は音楽や音、東西文化、アイデンティティをテーマとしている。2003年のヴェネツィア・ビエンナーレにルクセンブルグ代表として参加、金獅子賞を受賞。2009年に水戸芸術館で個展開催。



8. ツェ・スーメイ 《エコー》 2003 ©Su-Mei Tse

サイ・トゥオンブリー

Cy Twombly 1928-2011

アメリカのヴァージニア州レキシントン出身の20世紀を代表する画家で版画や彫刻も手がけた。1957年からローマに移り、2011年同地で没す。落書きを思わせる線や絵具の飛沫、ときおり書き込まれるギリシア・ローマの古典世界や詩人たちを想起させる言葉などが漂う作品は、抽象的でありつつ独特の詩情を湛えたものである。



9. サイ・トゥオンブリー 《無題》 1969 © Cy Twombly Foundation
Photo © Centre Pompidou, MNAM-CCI / Philippe Migeat / Dist.RMN-GP

関連イベント

国際シンポジウム「あさっての美術館」 ※日・英同時通訳

パネリスト（予定）

- ・ボンビドゥー・センター国立近代美術館長 アルフレッド・バックマン
- ・サンフランシスコ近代美術館長 ニール・ベネズラ
- ・「M+」西九龍文化地区エグゼクティブディレクター ラース・ニッティブ
- ・兵庫県立美術館長 蓑豊

1月19日（日） 13:30～16:00

ミュージアムホールにて 聴講無料 要事前申込^{*1}（先着250名）

お問い合わせ：営業・広報グループ TEL 078-262-0905

学芸員によるギャラリートーク

2月15日（土）、3月15日（土）

16:00～（約45分）

展示会場にて 要展示会チケット／定員20名

ミュージアム・ボランティアによる解説会

会期中の毎週日曜日 11:00～（約15分）

レクチャールームにて 聴講無料（定員100名）

こどものイベント「親子でギャラリートัวร์」

3月1日（土）

(1) 10:30～12:00 対象：小1～小3とその保護者

(2) 13:30～15:00 対象：小4～中3とその保護者

展示会場にて（保護者の方は要観覧券）

要事前申込（各回先着20名・保護者の方含む）

お問い合わせ・お申込み：こどものイベント係 TEL 078-262-0908

※関連イベントの詳細情報は当館ホームページをご覧ください。

※1：申し込み方法

◆往復はがき（1月10日消印有効）

- ①参加人数（2名まで） ②参加者の名前 ③住所・電話番号
をご記入の上、下記までお送りください。

兵庫県立美術館 営業・広報グループ

〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1-1-1

◆メール（1月10日正午受付終了）

- ①参加人数（2名まで） ②参加者の名前 ③住所・電話番号
をご入力の上、下記までお送りください。

symposium@artm.pref.hyogo.jp

同時開催の展覧会

コレクション展Ⅲ

小企画 奥田善巳展

特集 コレクション名品選 美術の始まるころ

11月23日（土・祝）～2014年3月9日（日）

会場：兵庫県立美術館 常設展示室（1階・2階）

横尾忠則現代美術館での同時開催

横尾忠則の「昭和NIPPON」—反復・連鎖・転移

2014年1月25日（土）～3月30日（日）

※特別展又はコレクション展の有料チケット半券のご提示で、団体割引料金でご覧いただけます。（詳細はHPなどでご確認ください）

広報用画像について

このプレスリリースに掲載されている画像データをプレス掲載用にご用意しております。

※画像番号**3、5**の使用につきましては、別途、著作権使用承諾の申請・著作権使用料が必要となります。

使用料規程に関して

<http://www.bunka.go.jp/ejigyoku/pdf/02017-kite.pdf>

一般社団法人 日本美術著作権協会

〒104-0061 東京都中央区銀座3丁目10番19号 美術家会館604号室

TEL: 03-6226-5951 FAX: 03-6226-5952

お問い合わせ先

兵庫県立美術館

〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1-1-1

代表 TEL: 078-262-0901 FAX: 078-262-0903

企画内容に関すること

担当学芸員: 小林公・江上ゆか

TEL: 078-262-0909 FAX: 078-262-0913

e-mail: tkobayashi@artm.pref.hyogo.jp (小林)

e-mail: egami@artm.pref.hyogo.jp (江上)

取材・写真提供に関すること

営業・広報グループ

TEL: 078-262-0905 FAX: 078-262-0903

交通案内

阪神岩屋駅（兵庫県立美術館前）から南に徒歩約8分

JR神戸線灘駅から南に徒歩約10分

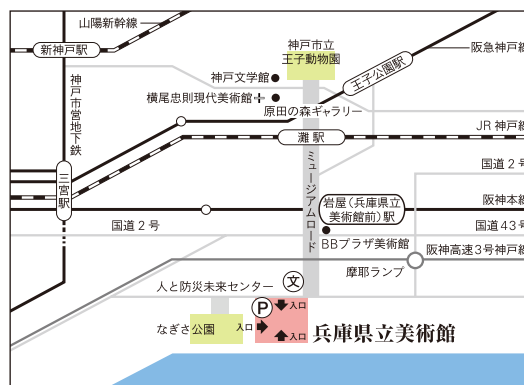
阪急神戸線王子公園駅から南西に徒歩約20分

神戸市バス・阪神バス「県立美術館前」下車すぐ

地下駐車場: 乗用車80台収容・有料

*ご来館はなるべく電車・バスをご利用ください

*団体バスでお越しの場合は、バス待機所の予約をお願いします



ポンピドゥー・
センター・コレクション
フルーツ・オブ・パッション

本展に関する記事をご掲載いただきました際には、お手数ですが、掲載誌・紙または記録媒体(VTR/DVD)、URLなどを、右記営業・広報宛にお送りくださいますようお願いいたします。ポンピドゥー・センターへ報告します。

 **兵庫県立美術館**
HYOGO PREFECTURAL MUSEUM OF ART
〒651-0073
神戸市中央区脇浜海岸通 1-1-1
電話 (078) 262-0905 (直通)

広報画像申込書

営業・広報グループ 宛 FAX (078) 262-0903

ご希望の画像の番号に○をつけてください。後日データ (.jpg) をお送りいたします。

番号	作家名・作品名・制作年・クレジット表記など
1 (表紙)	ポンピドゥー・センター外観 © Centre Pompidou / Georges Meguerditchian
2	ファラー・アタッシ 《作業場》 2011 © Farah Atassi Photo © Centre Pompidou, MNAM-CCI / Georges Meguerditchian / Dist.RMN-GP
3*	ハンス=ペーター・フェルドマン 《影絵芝居(パリ)》 2011 © VG BILD-KUNST, Bonn & JASPAR, Tokyo, 2013 E0747 Photo © Centre Pompidou, MNAM-CCI / Georges Meguerditchian / Dist.RMN-GP
4	イザ・ゲンツケン 《無題》 2006 © Isa Genzken/Courtesy Galerie Daniel Buchholz, Cologne/Berlin Photo © Centre Pompidou, MNAM-CCI / Georges Meguerditchian / Dist.RMN-GP
5*	アグネス・マーチン 《無題》 2002 © Estate of Agnes Martin / ARS, N.Y. / JASPAR, Tokyo, 2013 E0747 Photo © Centre Pompidou, MNAM-CCI / Philippe Migeat / Dist.RMN-GP
6	エルネスト・ネット 《私たちはあの時ちょうどここで立ち止まった》 2002 © Ernesto Neto Photo © Centre Pompidou, MNAM-CCI / Georges Meguerditchian / Dist. RMN-GP
7	ジェイソン・ローズ 《ボーブールの雌猫》 2004 © The Estate fo Jason Rhoades Photo © Centre Pompidou, MNAM-CCI / Georges Meguerditchian / Dist.RMN-GP
8	ツェ・スーメイ 《エコー》 2003 ©Su-Mei Tse
9	サイ・トゥオンブリー 《無題》 1969 © Cy Twombly Founation Photo © Centre Pompidou, MNAM-CCI / Philippe Migeat / Dist.RMN-GP

※上記画像を媒体掲載される際には、記載の作家名・作品名・制作年・クレジット表記などを必ず入れてください。

※画像データ使用は、本展覧会の紹介用のみとさせていただきます。それ以外での使用はできません。ご了承ください。

※画像番号 3、5 の使用につきましては、別途、著作権使用承諾の申請・著作権使用料が必要となります。

貴社名			
媒体名	新聞・雑誌・ミニコミ TV・ラジオ・インターネット		
ご担当者名			
ご住所	〒		
電話番号		F A X	
メールアドレス	@		
URL			
掲載・放送予定日			
画像到着希望日			
読者・視聴者プレゼント用招待券（最大10組20名まで 本展を媒体でご紹介いただける場合に限りです）	組	名分希望	
メールマガジンをお持ちですか？	はい ・ いいえ		
メーリングリストをお持ちの場合、当館の展覧会・イベント情報等を送信していただく事は可能ですか	可 ・ 不可		

※本展に関する記事をご掲載いただきました際には、お手数ですが、掲載誌・紙または記録媒体 (VTR/DVD)、URLなどを、上記営業・広報宛にお送りくださいますようお願いいたします。

※本展覧会会場の取材、撮影をご希望の場合は、上記までご連絡ください。事前にご連絡のない取材・撮影はお断りいたします。